



アカ

さあ、今日みんなと来たのは、「朝日遺跡」というところだ！ たくさんの人が、なにかしているよ。
これは「発掘調査（はくつちょうさ）」といって、地面の下にうまってしまった大昔の人々の生活の跡（あと）をしらべているところだ。
朝日遺跡は、いまから2000年以上も前、人々が集まって住んでいたところなんだ。
日本の歴史では「弥生（やよい）時代」とよばれているところだね。



おや、地面がまるくへこんでいるけど、なにかかな？ これは**竪穴式住居（たてあなしきじゅうきょ）**といって、弥生時代の人たちが生活していた家のあとなんだ。小さな穴は柱をたてたあとだよ。今は穴しか残っていないけど、本当は写真のようにわらの屋根がついていたんだ。朝日遺跡ではこうした家がたくさんみつかっていて、たぶん**1000人くらいの人**が住んでいたんだらうっていわれているよ。



クロ



アカ

たくさんの方がいたんだから、その人たちが死んだあとにうめられたお墓もたくさんみつかるよ。
なかには**2000年前のがい骨が残っていた**こともあるんだ。ちょっと怖いような気もするけど、骨をしらべることで、弥生人の身長や体つき、どんな生活をしていたかわかるんだ。



こんどは遺跡を空からみてみよう。朝日遺跡が大きな平野（へいや）のなかにあることがわかる。遺跡のまん中に大きな谷があって、この谷をはさんで北と南に人が生活する場所があったんだ。その東と西にはたくさんのお墓がつくられていたことがわかってきた。
遺跡の広さは、なんと、**80万平方メートル**もあって、あの**ナゴヤドームが16個から17個も入ってしまう**大きさだ。朝日遺跡は、日本でみつかる弥生時代の遺跡のなかでも、**もっとも大きな遺跡のひとつ**なんだ。



クロ



アカ

おや、土のなかから何かでてきた。これは**弥生土器**、みんなも教科書にのっている写真や絵をみたことがあるよね。発掘調査で一番たくさんみつかるのが、この土器なんだ。たいていはわれて破片になっているから、掘り出したあとにパズルのようにつなぎ合わせてもとの形を作るんだ。



ところで、土器はどのようにつかわれたか知っているかな？ 写真の3つの土器をみてみよう。少しずつ形がちがうけど、それぞれつかわれ方もちがうんだ。

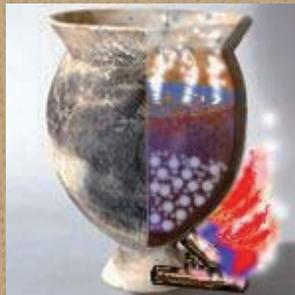


クロ



アカ

左の土器は**ものをたくわえる容器**で、食べ物や水をいれておくための土器なんだ。まん中の土器はすすでまっ黒になっている。火にかけられた土器で、**今のおナベにあたるもの**なんだ。なかにはこげた食べ物がこびりついているのこっている土器もあるんだよ。右の土器は、**食べ物をもりつける食器**。今のお皿やお椀にあたるものなんだ。



ほとんどの土器はふだんの生活でつかわれたものだけど、お祭りなど特別なときにつかわれた土器もあったようだ。写真の土器は赤く塗られていて、きれいな文様も描かれている。何か儀式のときにつかわれたと考えられているんだよ。(赤彩土器。パレススタイル土器ともいいます)



クロ



きみは今朝何を食べてきたかな。ごはんとおみそ汁？パンという人もけっこういるみたいだね。ところで、**弥生時代の人たちは何を食べていたんだろう。**



左の写真が何かわかるかな。小さな黒いつぶがいっぱいある。ゴマ、虫、ウサギのフンという人もいるね。実はこれ朝日遺跡で発掘された**お米**なんだ。

お米が日本に伝わってきたのは、**今から2400年ほど前**の縄文時代のおわりごろ、そして本格的に食べられるようになったのは、弥生時代にはいつからなんだ。



クロ



アカ

みんなはお米がどうやってつくられているか知っているよね。そう、**田んぼに植えられている稲（イネ）に実るもの**なんだ。春の田植えや秋の稲刈りの作業をみた人もあると思うけど、**弥生時代のお米も田んぼでつくられていた。**写真は朝日遺跡でみつかった田んぼのあとだけど、1枚の田んぼは2m四方ぐらいしかなく、今とくらべるとずいぶん小さなものだったんだ。



お米づくりにはさまざまな道具が使われた。木でできたクワはたんぼをたがやしたり、水路をつくるときに使われた。教科書にのっている**石庖丁（いしばうちょう）**は、稲を刈り取るのに使う道具だよ。これらの道具は弥生時代になってお米づくりを始めた人たちが使っていたものなんだ。



クロ



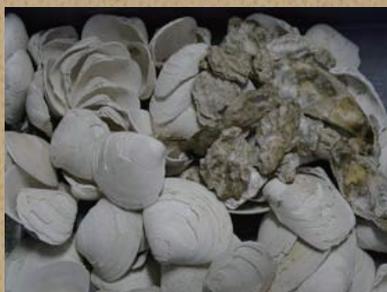
ごはんを食べるといふみんなの食生活は、**実は弥生時代からはじまったもの**なんだよ。



3時間目で勉強したように、弥生時代の人たちにとってお米はとても大切な食べ物だった。だけど、**お米ばかりを食べていたわけではないよ**。朝日遺跡からは、ほかにもたくさんの食べ物がみつかった。たとえば、下はモモのたね。上はヒョウタンの種。ヒョウタンは食べたり、入れ物に使ったりしたようだ。そのほかにも、木の実やマメなどがみつかった。



ところで、下の写真は何かわかるかな。土のなかに白いものがたくさん埋まっているよね。**これは貝殻**。ハマグリやカキ、それにシジミもあるんだ。昔の人たちが食べたあとの貝殻をすてた場所を**貝塚(かいづか)**という。今みたいにゴミの収集があったわけではないから、ムラのなかのきまった場所に貝をすてていたんだ。



貝塚からは、貝だけでなく**小さな魚の骨**もみつかると。この骨をしらべると、昔の人が食べた魚の種類がわかるんだ。朝日遺跡からはいろいろな魚の骨がみつかった。アジ、スズキ、タイ、カレイなど海の魚、ウナギやフナなど川や池にすむ魚をとっていたことがわかっている。魚をとるときは、**シカの角や骨**でつくられた**ヤス**を使っていた。ほかにも網のおもりや釣り針もみつかった。いろいろな方法で魚がおこなわれていたようだ。



魚だけでなく**動物の肉**もしっかり食べていた。写真はイノシシ(上)とシカ(下)の頭の骨で、朝日遺跡で多くみつかった動物なんだ。だけど、これらの動物はどうやってつかまえたんだろう。右の写真はシカの腰の骨だけど、左側にささっている小さなものは、**石のヤジリ**なんだ。**弓矢を使って狩り**をしていたんだね。





発掘調査では、弥生時代の人たちが使った道具がたくさんみつまっている。なかでも石でできた道具、石器にはいろいろな種類がある。

左の写真は斧の刃として使われた石器で、**石斧（せきふ）**というものだ。右の写真のように柄（え）にはめ込んで、木を切ったりけずったりするのに使われた道具だよ。



クロ



アカ

3時間目にでてきた**石庖丁（いしぼうちょう）**や4時間目の**ヤジリ**も石でできている。ほかにも穴をあけるためのキリ、肉を切るためのナイフなど、石器はいろいろな道具に使われていたんだ。

だけど、**弥生時代の終わりごろには、これらの石器はほとんどなくなってしまう。**いま僕たちが使っている道具のなかに石器はないけど、それは石から別の材質にだんだんとかわっていったからなんだ。木を切るための斧、台所で使う包丁（ほうちょう）、今ではこれらの道具は**鉄などの金属**でできているよね。そう、弥生時代は今の中国や朝鮮半島から**鉄、青銅などの金属が伝えられ、石器にかわる道具として広まっていった時代**でもあるんだよ。

写真は朝日遺跡でみつかった鉄の斧と青銅のヤジリ。弥生時代としては最先端の技術でつくられた道具なんだ。





アカ

朝日遺跡の弥生人たちは、どんなことを考えてくらししていたんだろう。残念ながら弥生時代には文字が使われていなかったから、当時の人たちが考えていたことをちょくせつ知ることはできない。でも、遺跡には弥生人たちのいのりや願いがこめられたものものこされている。最後の授業は弥生時代の人たちの「こころ」について考えてみよう。



きみたちは占いを信じるかい？ 実は弥生時代の人たちも占いをおこなっていたんだ。写真のシカの骨には、黒くこげたところがいくつもある。これはト骨（ぼっこつ）といって、骨の表面を焼いてできたこげやひびのはいりかたで、吉凶（きつきょう）や豊作を占ったものなんだ。ムラにとって大事なことを占いで決めたりしたんだろう。



クロ



アカ

これは銅鐸（どうたく）といって、弥生時代のお祭りに使われた道具なんだ。今はさびてしまって緑色をしているけど、もともとは金色に光りがやっていたんだよ。田植えや稲刈りのときに鳴らして、豊作を祈ったものだといわれている。また、人里はなれた山のなかに埋められることもあって、神様をしずめたり自分たちの安全を願ったりしたとも考えられている。朝日遺跡でみつかった銅鐸は、ムラをかこむ堀（ほり）のすぐ外側に埋められていた。ムラの外から敵やわざわいが入ってこないように、そんな願いを込めて埋めたのかもしれないね。



みんなといっしょに朝日遺跡を探検してきたけど、おもしろかったかな？

愛知県には、朝日遺跡の他にも弥生時代の遺跡がたくさんあるんだ。豊橋市の瓜郷遺跡や岩倉市の大地遺跡のように、公園として整備されていて気軽に訪れることができる遺跡もあるよ。

きみたちも自分の町の遺跡を調べてみよう。きっと新しい発見があるよ！

